

講師プロフィール
ニコライ・ボヤジエフさん

ブルガリア共和国北部プレヴェン市出身。米・ハーバード大学社会学部卒業。ボヤジエフはブルガリア語で「ペンキ屋」の意味で、典型的なブルガリア人の苗字だとか。



長～い夏休み

ブルガリアの教育制度は4・4・4制(義務教育は8年)。小学校から大学1年くらいまでは、3か月半もの夏休みがあります。長い夏休みの間に、前学期に学習したことを忘れてしまうので、新学期には1か月くらい復習に費やします。社会人でも1年間に45日くらいの休みがあります。夏休みは2～3週間程あり、家族で旅行に行ったりします。1番人気のリゾート地は黒海。名前に反して青い海、白砂の美しいところです。

ブレイクタイムにはブルガリアの焼き菓子「バクラバ」をいただきました。刻んだクルミがたっぷり入ったパイです。パイシート、クルミ、パイシート、クルミと数回繰り返して焼きます。日本製のパイシートよりも薄い生地を使います。焼き上がったらシロップをかけ1日置いて食べます。



花よりサクランボ?

日本と同じように四季があるブルガリアでは、桜のお花見をします。でも、「花よりだんご」ならぬ「花よりサクランボ」。サクランボ狩りもあり、木に登って食べます。サクランボの値段は、1キロ100円以下。

国際交流員 ロペスさん大活躍

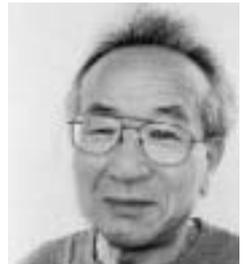
豊川市は広報「とよかわ」のポルトガル・スペイン語版の「TOYOKAWA INFORMA」(A4判、4ページ、毎月1日発行)を創刊しました。広報紙から必要な記事を抜粋し、ロペスさんが2か国語に翻訳します。内容は、市や協会主催の講座や催しなどのお知らせが載っている「情報コーナー」、乳幼児検診、育児相談など小さいお子さんを持つ保護者にはうれしい「保健コーナー」、ぜひとも知っておきたい「緊急当直医」と分かれています。INFORMAを読んだ人から、協会事務局に電話がかかってくるなど、少しずつ反響もあるようです。「豊川に住むすべての南米出身者に読んでもらいたい。地域の決まりを知り、それを守り、そして共生して欲しい」とロペスさんは言います。INFORMAは、事務局にも置いてありますので、お近くの南米出身者でまだ知らない方がいましたら、ぜひ教えてあげてください。



丸山さん おめでとうございます

6月1日に市制施行60周年記念式典が市役所で行われ、協会実行委員長の丸山正克さんが豊川市の国際化に貢献した理由で、市長から感謝状を受けました。

丸山さんは「外国人に日本語を教えてほしい」という依頼をきっかけに入会されました。現在はラングウェッジ部会の部会長、外国人相談サークル代表、さらに、ひらがな新聞、ラテンアメリカサークルでも活躍されています。今後は、外国人との交流を通して、諸外国の文化、風俗、習慣などを知るとともに、共存の道を探り、また豊川を訪れた外国人やインターネットを通じ、世界に豊川の紹介をしたいなど、意欲満々です。



国内旅行・海外旅行

お問い合わせ、申込みは
旅行の総合デパートを目指す
当社へ是非お願いします

トラベル東海

豊川市三蔵子町一里塚41-4
(0533)84-7115

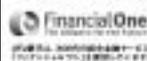
ALLONE

オールワン

あなたのライフプランに
最適なタイミングでこたえる
トータルマネージャーサービス

オールワンは、あなたの資産をしっかりと管理しながら「つぎは」「かきこ」「ためる」「ゆるやかに」といったUFJ銀行と共に行っているさまざまな取り組みを通じて、UFJダイレクトや経営者サポートメントといった銀行との新しい取り組みの仕方も、いっしょにご確認ください。

※オールワンのご利用にはお預金手数料がかかります。ただし、お預金状況によっては無料となります。



UFJ 5よつとコール ☎ 0120-898-508